

開催レポート

キャンパスタウン・ウォッチング 柏の葉

～変わりゆく街を散策しながら、変わることのない魅力を考える～

日 時：2013年1月19日（土）13時00分～16時00分

参 加：一般参加9名（事前申込9名、当日参加0名）、UDCKスタッフ5名

主 催：柏の葉アーバンデザインセンター

柏の葉キャンパス地域では、大規模な開発事業が進み、多様な都市活動も展開してきている。T X 柏の葉キャンパス駅直近では高度に集積した都市機能整備が目下急ピッチで進むなか、そこから一步離れた周辺部には、まとまった公園が整備されていたり、豊かな生態系の残る貴重な緑地の保全や新たな緑・水辺の創出が目指されている。

この地域に住む人、働く人、あるいは諸活動に参加する人等が、改めて身の周りの都市環境・生活空間に目を向けるきっかけとなるよう、日々変わり続ける柏の葉キャンパス地域の魅力と課題を、皆で散策しながら発見するまち歩き企画として「キャンパスタウン・ウォッチング 柏の葉」を実施した。

■当日の進行スケジュール：

～ 13:00	UDCK集合・受付
13:00 ～ 13:20	説明・注意事項
	(出発準備)
13:25 ～	UDCK出発
	柏の葉キャンパス地域のまち歩き
～ 15:30	UDCK到着
	(休憩)
～ 16:00	感想意見交換
16:00 ～	アンケート記入、解散

■当日のようす：



▲(まち歩き前)説明のようす



▲まち歩き出発



▲ K F V 付近



▲ 2号調整池周辺



▲ 国道16号線沿い



▲ 正連寺集落の並木道



▲ 葉山十余二線沿い



▲ 1号近隣公園(計画地)付近



▲ Green Axis(計画地の見学含む)



▲ (まち歩き後)感想意見交換のようす

■感想意見交換における主な意見：

◎まち全体について：

- ・自然の残っている場所が意外に多いことが分かった。
- ・手すりやスロープなどのバリアフリー対応を充実させたい。
- ・国道16号線沿いを除いて、歩道の広い道が多く、歩きやすい。
→もっと歩いて楽しい空間にできるのではないか。
- ・敷地内通路は、一般開放されていてもその旨を知らないと通りづらい雰囲気がある。
- ・“一見さん”でも分かり易い休憩スペースの案内が欲しい。
- ・もっと素晴らしい街になっていくように思う。スマートシティのモデルになっていける!?
- ・短期滞在者用の宿泊施設がもっと必要ではないか。
- ・「住みやすい街・暮らしやすい街」を目指す上で、住民ニーズと本当に合致しているのか。
- ・街のコンセプトを理解し、この街の将来を考えたい人が来て、育っていくと良い。
- ・インフラ整備は進んできているが、施設や建物を整備した後の維持管理が課題だろう。

◎1号近隣公園・こんぶくろ池自然博物公園について：

- ・こんぶくろ池自然博物公園内も併せて見て回るツアー等があれば良い。
- ・駅近くの公園・緑地として、1号近隣公園の早期整備が待たれる。
- ・1号近隣公園やこんぶくろ池公園は緑が多いが、“身近さ”にやや欠けるとも思われる。
気軽に遊べる公園が欲しい。

◎2号調整池について：

- ・水鳥がいたり自然を感じられながらも、背景にはTX高架の人工物がそびえる景観が独特で面白い。
- ・周囲に遊歩道を整備したり、水辺公園のようなかたちで整備するのが良い。

◎正連寺集落の並木道について：

- ・神社や並木などの静かな雰囲気が良い。
- ・単なるブロック塀ではない、大谷石の垣のつくる景観が良い。
- ・地域の遺産（野馬土手等）を見られて良かった。
→街に対する親しみを感じられるように案内板を設置してみてはどうか。
- ・夜間は暗いと思われ、街路灯の整備が必要ではないか。

■総括：

週初めに降った雪がところどころ路上に残る中ではあったが、天候にも恵まれ、アットホームな雰囲気で和気あいあいとまち歩きを実施することができた。

「同様のまち歩き企画をまた実施して欲しい」との声もいただいております。進行プログラムを改善しながら、時間の制約上今回見て回ることができなかった駅南側や大学キャンパス内、柏の葉公園などを巡る機会の設定を検討したい。

一方では、柏の葉キャンパス地域の空間デザイン・景観形成に関する基本方針『柏の葉アーバンデザイン方針』に関する調査・検討が現在進められている。まちをつぶさに見た感想意見では、見落としがちなポイントを地域住民・来街者の視点から指摘いただいております。各種調査・検討における市民意見の収集方法についても検討すべきだろう。（文責：UDCK岡本）